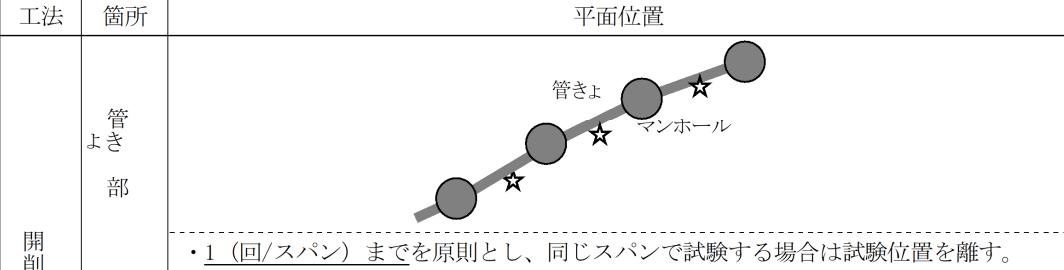
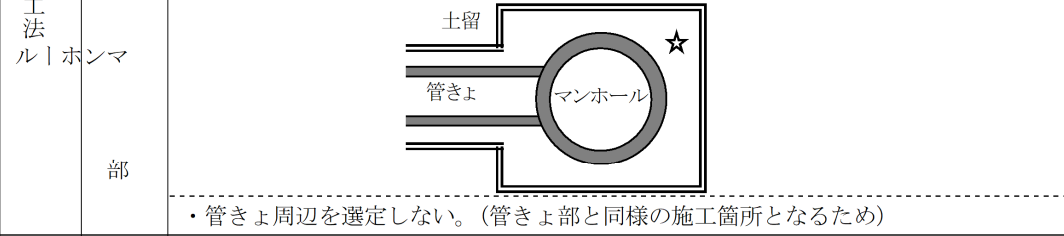
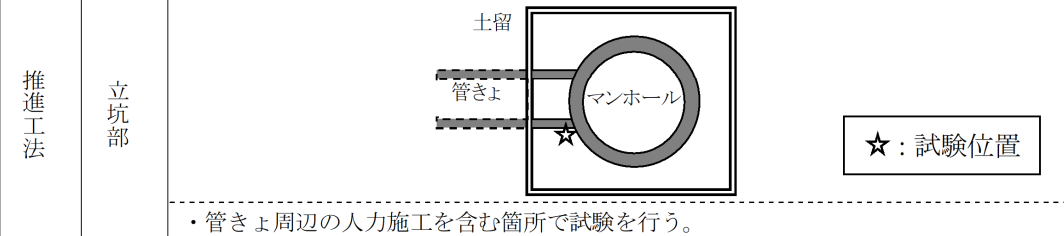
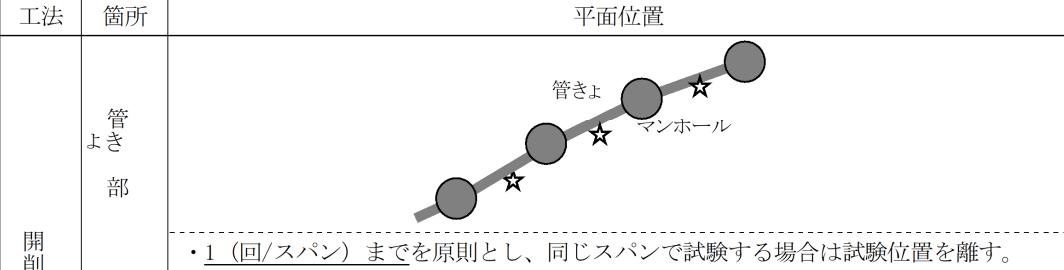
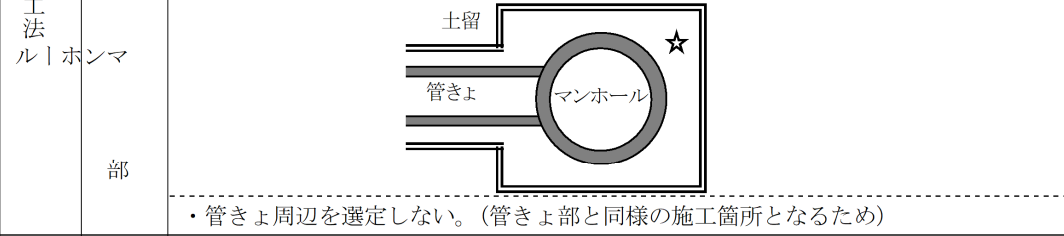
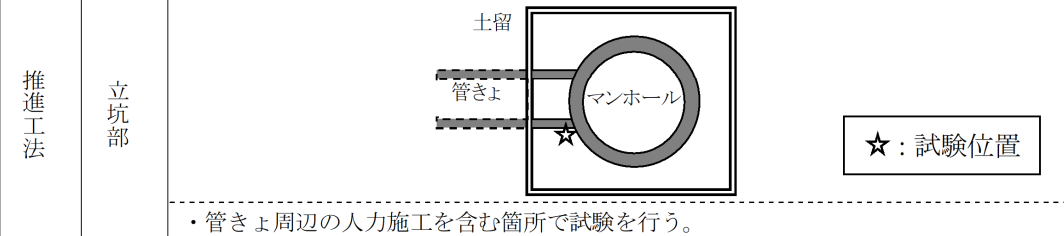
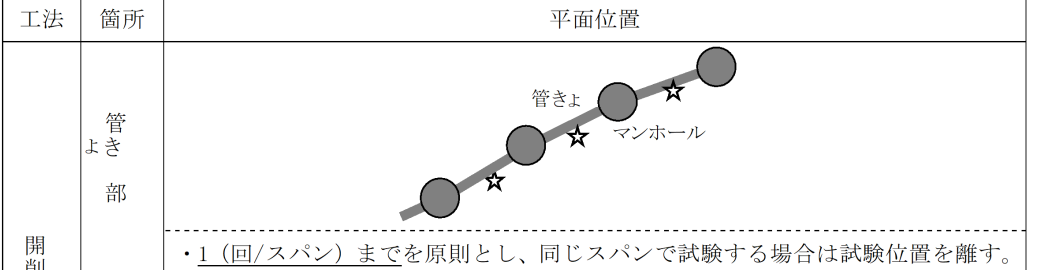
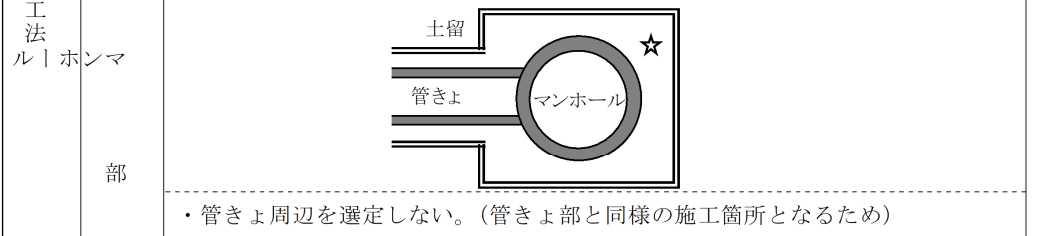
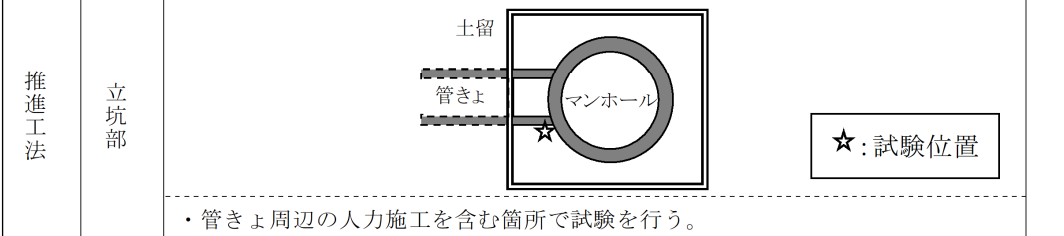
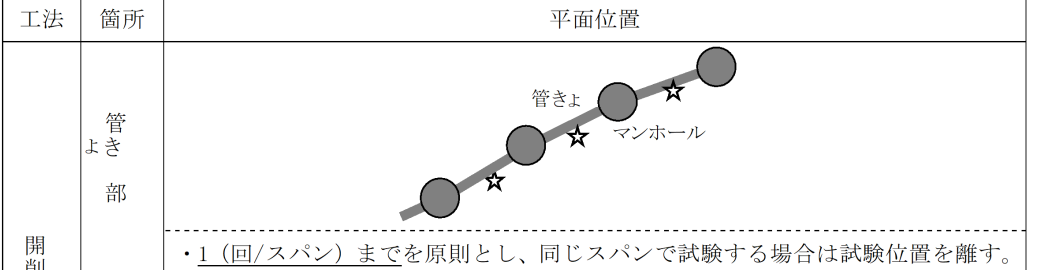
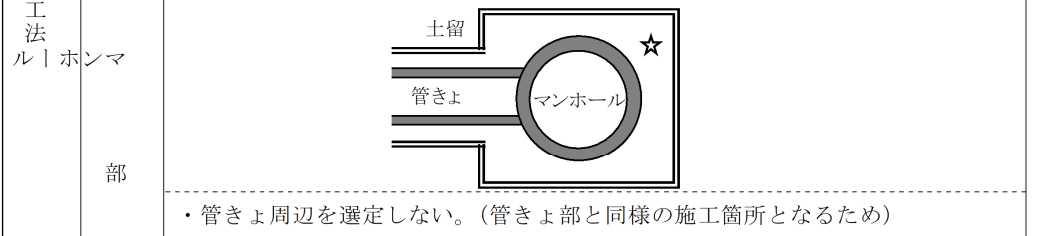
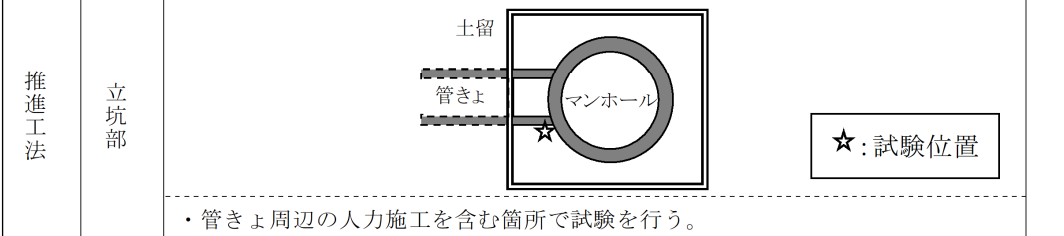
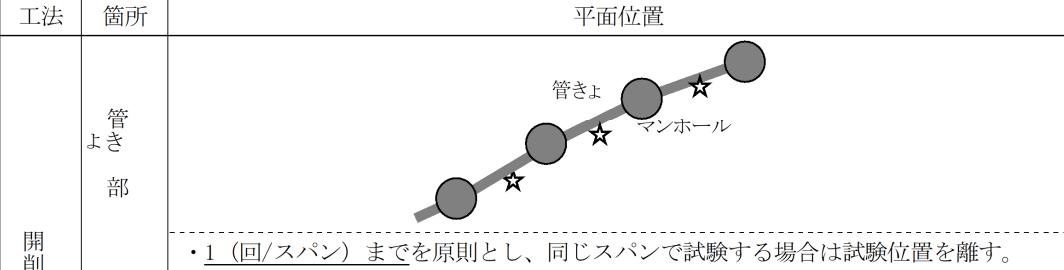
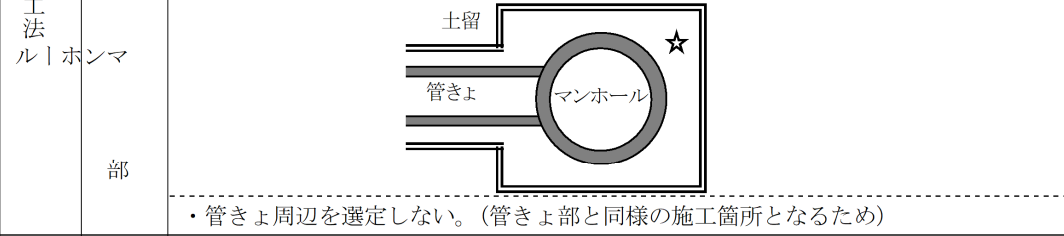
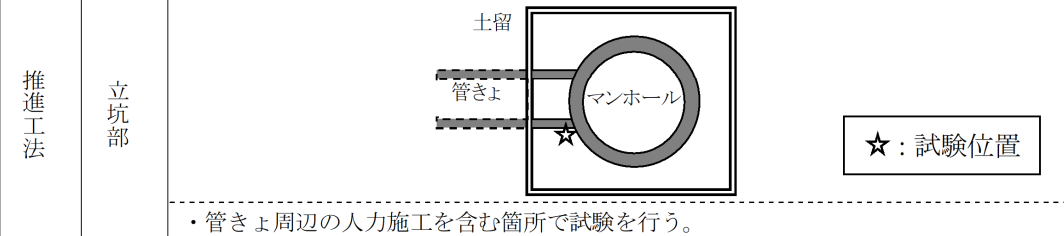
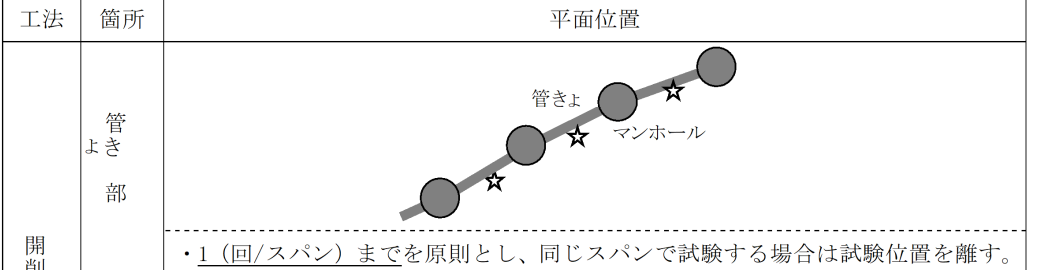
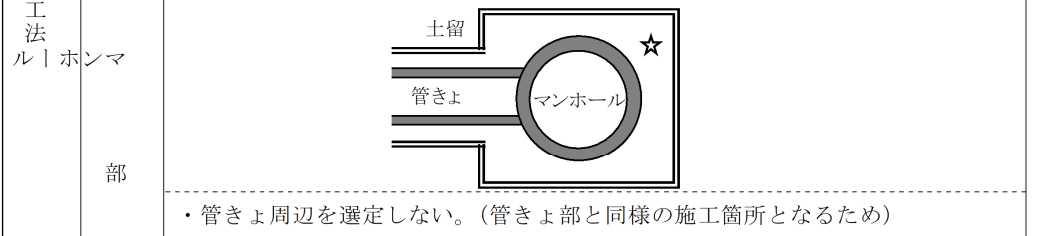
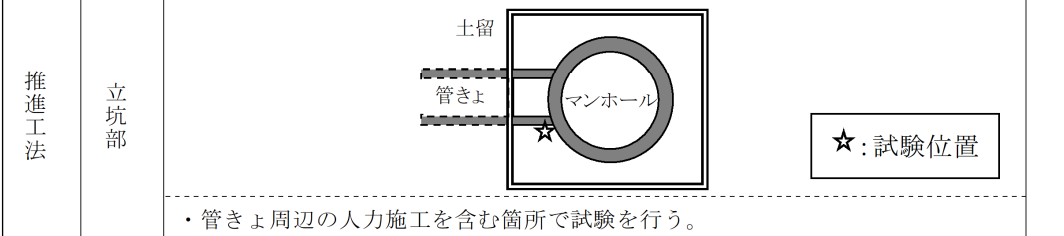
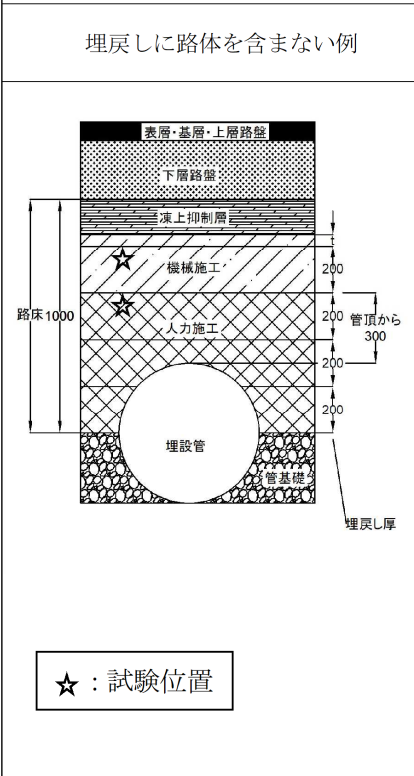
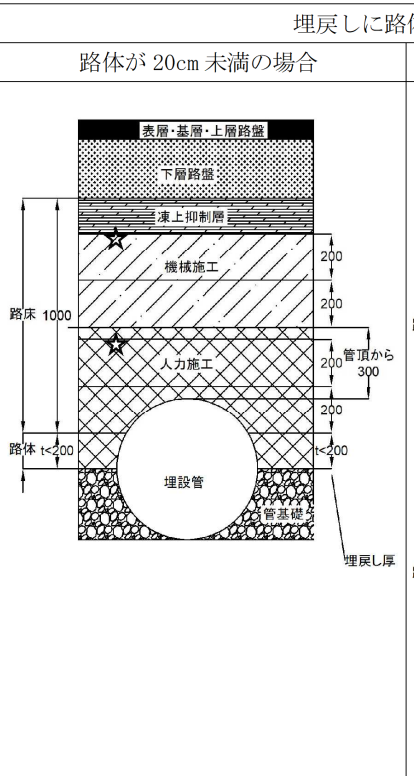
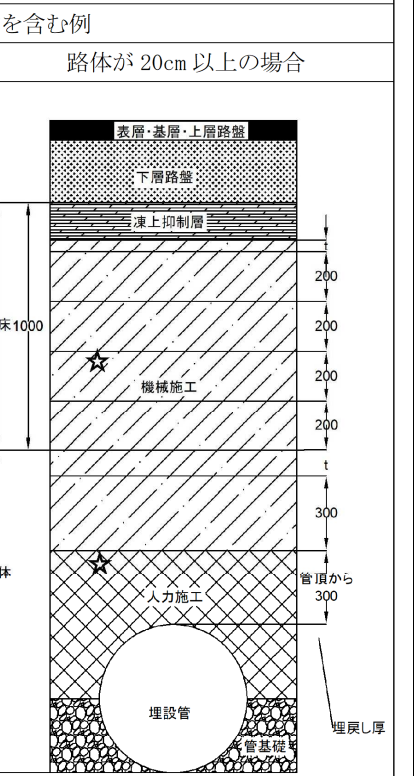
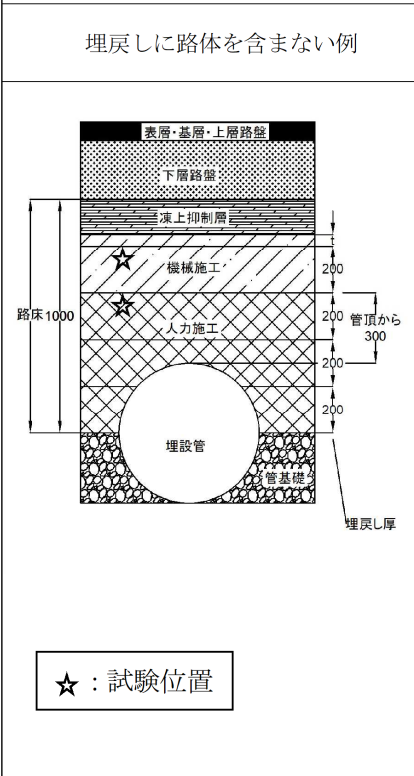
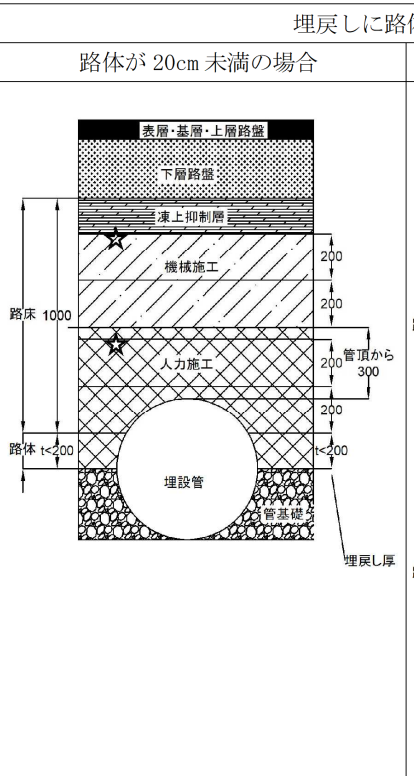
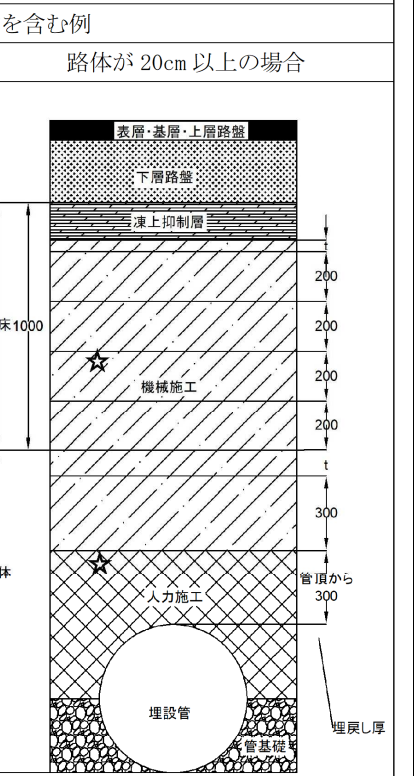
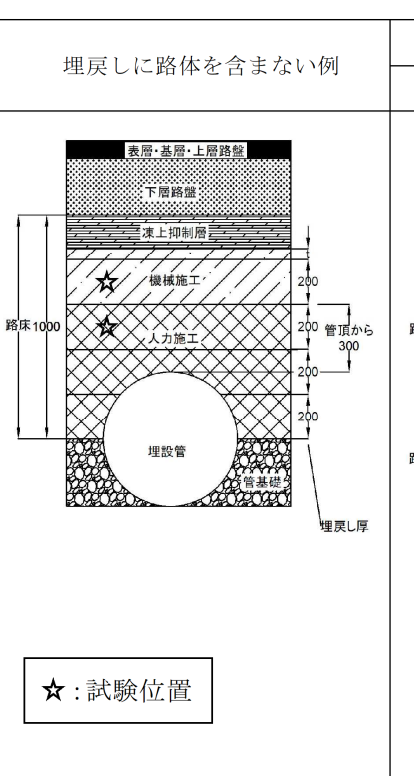
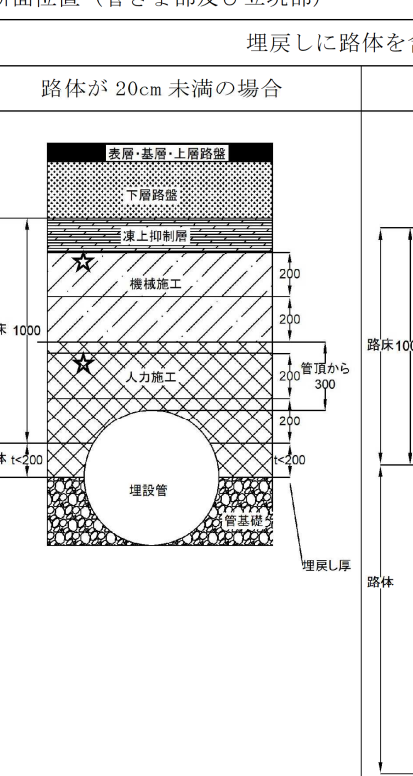
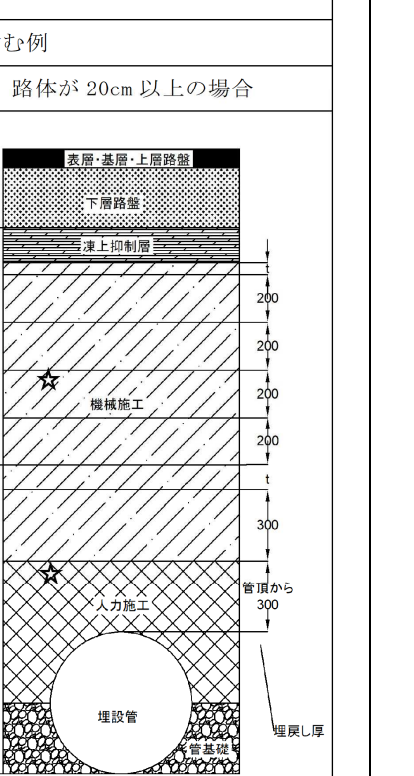
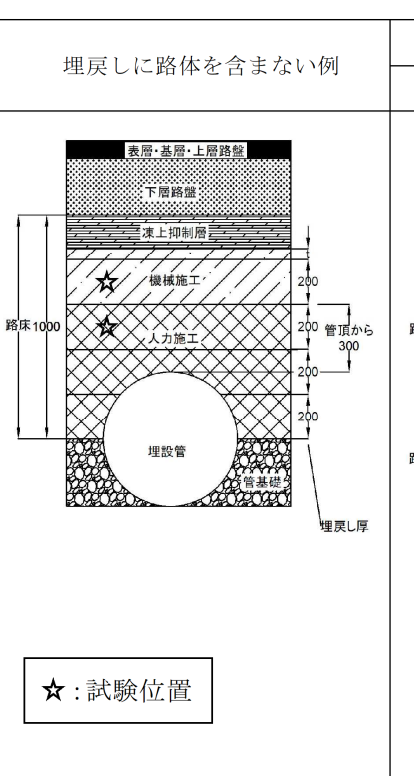
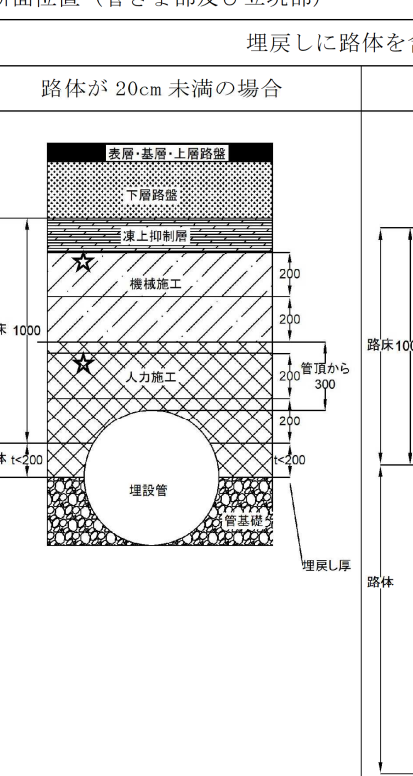
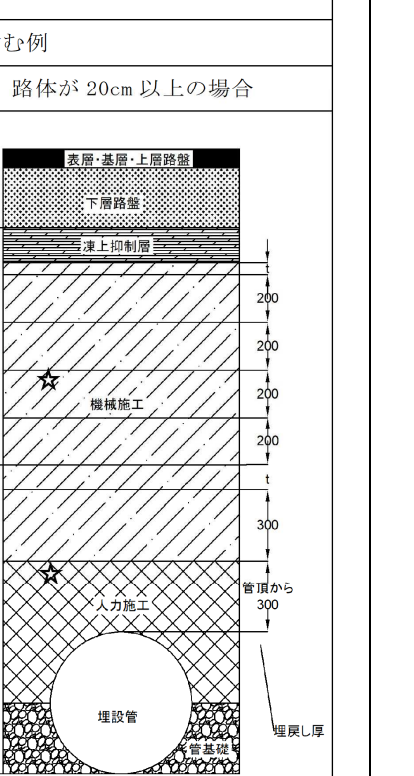
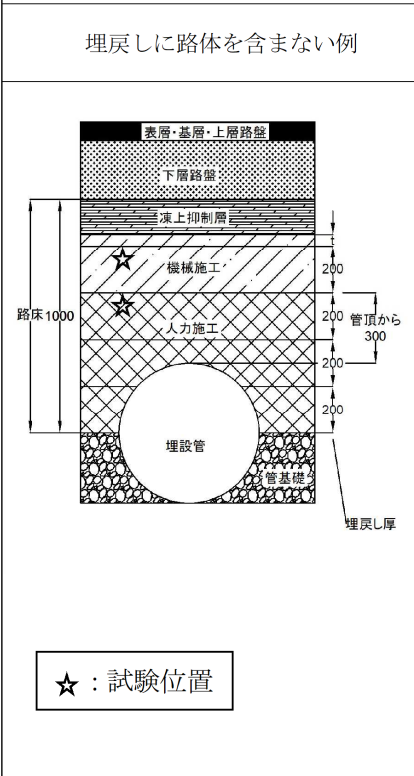
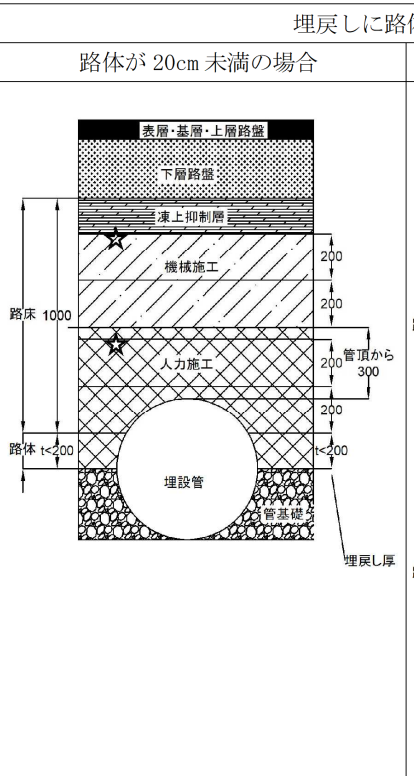
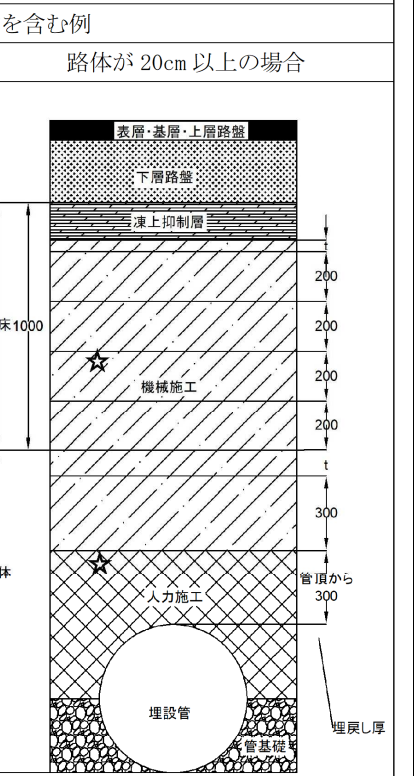


章(改定後)	現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																																														
第章 材料	<p>3 - 2 - 3 加熱アスファルト舗装材料</p> <p>「札幌市土木工事共通仕様書 1-3-6-2 アスファルト舗装の材料」及び以下の記載による。</p> <p>設計図書で特に明示していない場合、アスファルト合材の標準アスファルト量、石粉量及び標準密度は下記の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>道路種別</th> <th>アスファルト混合物種別</th> <th>標準密度(参考)</th> <th>AS量(%)</th> <th>Fi量(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">車道 (表層) (基層) (上層路盤)</td><td>細粒度アスコン13F</td><td>2.30</td><td>8.8</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>細粒度キップアスコン13F</td><td>2.30</td><td>6.8</td><td>11.6</td></tr> <tr><td>密粒度アスコン13F</td><td>2.35</td><td>5.9</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>密粒度キップアスコン13F</td><td>2.35</td><td>5.8</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>粗粒度アスコン(20)</td><td>2.35</td><td>5.3</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>アスファルト安定処理(30)</td><td>2.30</td><td>4.3</td><td></td></tr> <tr><td>アスファルトモルタル</td><td>2.05</td><td>9.0</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)</td><td>2.30</td><td>6.0</td><td></td></tr> <tr><td>再生細粒度アスコン13F(再生混入率50%)</td><td>2.30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>再生密粒度アスコン13F(再生混入率50%)</td><td>2.35</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>再生粗粒度アスコン(20)(再生混入率50%)</td><td>2.35</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>再生アスファルト安定処理(30)(再生混入率50%)</td><td>2.30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>改質型細密粒度キップアスコン13F55</td><td>2.35</td><td>6~6.3</td><td>F/A=1.7程度</td></tr> <tr><td>改質型密粒度キップアスコン13F</td><td>2.35</td><td>5.8</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>再生改質型細密粒度キップアスコン13F55(再生混入率30%)</td><td>2.35</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>再生改質型密粒度キップアスコン13F(再生混入率30%)</td><td>2.35</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">歩道 (表層) (上層路盤)</td><td>細粒度アスコン(13)</td><td>2.15</td><td>7.0</td><td>7.8</td></tr> <tr><td>アスファルト安定処理(30)</td><td>2.15</td><td>4.3</td><td></td></tr> <tr><td>再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)</td><td>2.15</td><td>6.0</td><td></td></tr> <tr><td>再生細粒度アスコン(13)(再生混入率50%)</td><td>2.15</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>上表空欄箇所については、土木工事共通仕様書・舗装再生便覧(平成22年11月(社)日本道路協会発行)等に示す標準配合の範囲内で、各プラントが標準的に出荷するアスファルト混合物の配合とする。</p>	道路種別	アスファルト混合物種別	標準密度(参考)	AS量(%)	Fi量(%)	車道 (表層) (基層) (上層路盤)	細粒度アスコン13F	2.30	8.8	15.0	細粒度キップアスコン13F	2.30	6.8	11.6	密粒度アスコン13F	2.35	5.9	10.0	密粒度キップアスコン13F	2.35	5.8	9.8	粗粒度アスコン(20)	2.35	5.3	4.8	アスファルト安定処理(30)	2.30	4.3		アスファルトモルタル	2.05	9.0	12.0	再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)	2.30	6.0		再生細粒度アスコン13F(再生混入率50%)	2.30			再生密粒度アスコン13F(再生混入率50%)	2.35			再生粗粒度アスコン(20)(再生混入率50%)	2.35			再生アスファルト安定処理(30)(再生混入率50%)	2.30			改質型細密粒度キップアスコン13F55	2.35	6~6.3	F/A=1.7程度	改質型密粒度キップアスコン13F	2.35	5.8	9.8	再生改質型細密粒度キップアスコン13F55(再生混入率30%)	2.35			再生改質型密粒度キップアスコン13F(再生混入率30%)	2.35			歩道 (表層) (上層路盤)	細粒度アスコン(13)	2.15	7.0	7.8	アスファルト安定処理(30)	2.15	4.3		再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)	2.15	6.0		再生細粒度アスコン(13)(再生混入率50%)	2.15			<p>3 - 2 - 3 加熱アスファルト舗装材料</p> <p>「札幌市土木工事共通仕様書 1-3-6-2 アスファルト舗装の材料」及び以下の記載による。</p> <p>設計図書で特に明示していない場合、アスファルト合材の標準アスファルト量、石粉量及び標準密度は下記の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>道路種別</th> <th>アスファルト混合物種別</th> <th>標準密度(参考)</th> <th>AS量(%)</th> <th>Fi量(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">車道 (表層) (基層) (上層路盤)</td><td>細粒度アスコン13F</td><td>2.30</td><td>8.8</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>細粒度キップアスコン13F</td><td>2.30</td><td>6.8</td><td>11.6</td></tr> <tr><td>密粒度アスコン13F</td><td>2.35</td><td>5.9</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>密粒度キップアスコン13F</td><td>2.35</td><td>5.8</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>粗粒度アスコン(20)</td><td>2.35</td><td>5.3</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>アスファルト安定処理(30)</td><td>2.30</td><td>4.3</td><td></td></tr> <tr><td>アスファルトモルタル</td><td>2.05</td><td>9.0</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)</td><td>2.30</td><td>6.0</td><td></td></tr> <tr><td>再生細粒度アスコン13F(再生混入率50%)</td><td>2.30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>再生密粒度アスコン13F(再生混入率50%)</td><td>2.35</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>再生粗粒度アスコン(20)(再生混入率50%)</td><td>2.35</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>再生アスファルト安定処理(30)(再生混入率50%)</td><td>2.30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>改質型細密粒度キップアスコン13F55</td><td>2.35</td><td>6~6.3</td><td>F/A=1.7程度</td></tr> <tr><td>改質型密粒度キップアスコン13F</td><td>2.35</td><td>5.8</td><td>9.8</td></tr> <tr><td>再生改質型細密粒度キップアスコン13F55(再生混入率30%)</td><td>2.35</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>再生改質型密粒度キップアスコン13F(再生混入率30%)</td><td>2.35</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">歩道 (表層) (上層路盤)</td><td>細粒度アスコン(13)</td><td>2.15</td><td>7.0</td><td>7.8</td></tr> <tr><td>アスファルト安定処理(30)</td><td>2.15</td><td>4.3</td><td></td></tr> <tr><td>再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)</td><td>2.15</td><td>6.0</td><td></td></tr> <tr><td>再生細粒度アスコン(13)(再生混入率50%)</td><td>2.15</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>上表空欄箇所については、土木工事共通仕様書・舗装再生便覧(平成22年11月(社)日本道路協会発行)等に示す標準配合の範囲内で、各プラントが標準的に出荷するアスファルト混合物の配合とする。</p>	道路種別	アスファルト混合物種別	標準密度(参考)	AS量(%)	Fi量(%)	車道 (表層) (基層) (上層路盤)	細粒度アスコン13F	2.30	8.8	15.0	細粒度キップアスコン13F	2.30	6.8	11.6	密粒度アスコン13F	2.35	5.9	10.0	密粒度キップアスコン13F	2.35	5.8	9.8	粗粒度アスコン(20)	2.35	5.3	4.8	アスファルト安定処理(30)	2.30	4.3		アスファルトモルタル	2.05	9.0	12.0	再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)	2.30	6.0		再生細粒度アスコン13F(再生混入率50%)	2.30			再生密粒度アスコン13F(再生混入率50%)	2.35			再生粗粒度アスコン(20)(再生混入率50%)	2.35			再生アスファルト安定処理(30)(再生混入率50%)	2.30			改質型細密粒度キップアスコン13F55	2.35	6~6.3	F/A=1.7程度	改質型密粒度キップアスコン13F	2.35	5.8	9.8	再生改質型細密粒度キップアスコン13F55(再生混入率30%)	2.35			再生改質型密粒度キップアスコン13F(再生混入率30%)	2.35			歩道 (表層) (上層路盤)	細粒度アスコン(13)	2.15	7.0	7.8	アスファルト安定処理(30)	2.15	4.3		再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)	2.15	6.0		再生細粒度アスコン(13)(再生混入率50%)	2.15			追加
道路種別	アスファルト混合物種別	標準密度(参考)	AS量(%)	Fi量(%)																																																																																																																																																																													
車道 (表層) (基層) (上層路盤)	細粒度アスコン13F	2.30	8.8	15.0																																																																																																																																																																													
	細粒度キップアスコン13F	2.30	6.8	11.6																																																																																																																																																																													
	密粒度アスコン13F	2.35	5.9	10.0																																																																																																																																																																													
	密粒度キップアスコン13F	2.35	5.8	9.8																																																																																																																																																																													
	粗粒度アスコン(20)	2.35	5.3	4.8																																																																																																																																																																													
	アスファルト安定処理(30)	2.30	4.3																																																																																																																																																																														
	アスファルトモルタル	2.05	9.0	12.0																																																																																																																																																																													
	再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)	2.30	6.0																																																																																																																																																																														
	再生細粒度アスコン13F(再生混入率50%)	2.30																																																																																																																																																																															
	再生密粒度アスコン13F(再生混入率50%)	2.35																																																																																																																																																																															
	再生粗粒度アスコン(20)(再生混入率50%)	2.35																																																																																																																																																																															
	再生アスファルト安定処理(30)(再生混入率50%)	2.30																																																																																																																																																																															
	改質型細密粒度キップアスコン13F55	2.35	6~6.3	F/A=1.7程度																																																																																																																																																																													
	改質型密粒度キップアスコン13F	2.35	5.8	9.8																																																																																																																																																																													
再生改質型細密粒度キップアスコン13F55(再生混入率30%)	2.35																																																																																																																																																																																
再生改質型密粒度キップアスコン13F(再生混入率30%)	2.35																																																																																																																																																																																
歩道 (表層) (上層路盤)	細粒度アスコン(13)	2.15	7.0	7.8																																																																																																																																																																													
	アスファルト安定処理(30)	2.15	4.3																																																																																																																																																																														
	再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)	2.15	6.0																																																																																																																																																																														
	再生細粒度アスコン(13)(再生混入率50%)	2.15																																																																																																																																																																															
道路種別	アスファルト混合物種別	標準密度(参考)	AS量(%)	Fi量(%)																																																																																																																																																																													
車道 (表層) (基層) (上層路盤)	細粒度アスコン13F	2.30	8.8	15.0																																																																																																																																																																													
	細粒度キップアスコン13F	2.30	6.8	11.6																																																																																																																																																																													
	密粒度アスコン13F	2.35	5.9	10.0																																																																																																																																																																													
	密粒度キップアスコン13F	2.35	5.8	9.8																																																																																																																																																																													
	粗粒度アスコン(20)	2.35	5.3	4.8																																																																																																																																																																													
	アスファルト安定処理(30)	2.30	4.3																																																																																																																																																																														
	アスファルトモルタル	2.05	9.0	12.0																																																																																																																																																																													
	再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)	2.30	6.0																																																																																																																																																																														
	再生細粒度アスコン13F(再生混入率50%)	2.30																																																																																																																																																																															
	再生密粒度アスコン13F(再生混入率50%)	2.35																																																																																																																																																																															
	再生粗粒度アスコン(20)(再生混入率50%)	2.35																																																																																																																																																																															
	再生アスファルト安定処理(30)(再生混入率50%)	2.30																																																																																																																																																																															
	改質型細密粒度キップアスコン13F55	2.35	6~6.3	F/A=1.7程度																																																																																																																																																																													
	改質型密粒度キップアスコン13F	2.35	5.8	9.8																																																																																																																																																																													
再生改質型細密粒度キップアスコン13F55(再生混入率30%)	2.35																																																																																																																																																																																
再生改質型密粒度キップアスコン13F(再生混入率30%)	2.35																																																																																																																																																																																
歩道 (表層) (上層路盤)	細粒度アスコン(13)	2.15	7.0	7.8																																																																																																																																																																													
	アスファルト安定処理(30)	2.15	4.3																																																																																																																																																																														
	再生アスファルト混合物(13・30)(100%再生材)	2.15	6.0																																																																																																																																																																														
	再生細粒度アスコン(13)(再生混入率50%)	2.15																																																																																																																																																																															

章(改定後)	現 行	改 定	備 考
第6章 推進工・シールド工	(裏込め) 36 受注者は、裏込注入の施工においては、次の事項に留意して施工しなければならない。 1) 裏込注入材料の選定、配合等は、土質その他の施工条件を十分考慮して行わなければならない。 2) 裏込注入工は、推進完了後速やかに施工しなければならない。なお、注入材が十分管の背面に行きわたる範囲で、できうる限り低圧注入とし、管体へ偏圧を生じさせてはならない。 3) 注入中においては、その状態を常に監視し、注入材が地表面に噴出しないよう留意し、注入効果を最大限に発揮するよう施工しなければならない。 4) ダボの使用にあたっては、地下水のない砂レキ及び転石地盤とし、「札幌市下水道設計標準図」により施工しなければならない。 5) 工事完了後速やかに、測量結果、注入結果等の記録を整理し工事監督員に提出しなければならない。 6) 受注者は、工事区間内に既設下水道管が布設されている場合、既設下水道管に影響のないように注意して施工しなければならない。また、既設下水道(本管及び取付管等)に注入液が流入しなかったか確認し、その結果を工事監督員に報告しなければならない。	(裏込め) 36 受注者は、裏込注入の施工においては、次の事項に留意して施工しなければならない。 1) 裏込注入材料の選定、配合等は、土質その他の施工条件を十分考慮して行わなければならない。 2) 裏込注入工は、推進完了後速やかに施工しなければならない。なお、注入材が十分管の背面に行きわたる範囲で、できうる限り低圧注入とし、管体へ偏圧を生じさせてはならない。 3) 注入中においては、その状態を常に監視し、注入材が地表面に噴出しないよう留意し、注入効果を最大限に発揮するよう施工しなければならない。 (削除) 4) 工事完了後速やかに、測量結果、注入結果等の記録を整理し工事監督員に提出しなければならない。 5) 受注者は、工事区間内に既設下水道管が布設されている場合、既設下水道管に影響のないように注意して施工しなければならない。また、既設下水道(本管及び取付管等)に注入液が流入しなかったか確認し、その結果を工事監督員に報告しなければならない。	標準図の廃止に伴う削除

章(改定後)		現 行		改 定		備 考		
第16章 施工管理基準						基準の変更		
16-4	品質管理基準及び規格値 札幌市土木工事共通仕様書 II 土木工事施工管理基準の規定による。 道路土工の必須試験であるブルーリングについては、省略する。道路土工の現場密度の測定又は飽和度の測定については、下記の通りとする。	品質管理基準及び規格値 札幌市土木工事共通仕様書 II 土木工事施工管理基準の規定による。 道路土工の必須試験であるブルーリングについては、省略する。道路土工の現場密度の測定又は飽和度の測定については、下記の通りとする。	II 土木工事施工管理基準の規定による。 道路土工の必須試験であるブルーリングについては、省略する。道路土工の現場密度の測定又は飽和度の測定については、下記の通りとする。	II 土木工事施工管理基準の規定による。 道路土工の必須試験であるブルーリングについては、省略する。道路土工の現場密度の測定又は飽和度の測定については、下記の通りとする。	II 土木工事施工管理基準の規定による。 道路土工の必須試験であるブルーリングについては、省略する。道路土工の現場密度の測定又は飽和度の測定については、下記の通りとする。			
工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	概要	試験成績表等による確認
道路土工	土工	必須	現場密度の測定又は飽和度の測定(粘質土)	最大粒径 $\leq 53\text{mm}$ JISA1214(砂置換法) 最大粒径 $> 53\text{mm}$ : 細集調査試験法(便覧[4]-185(突砂法))	【砂質土】 (路体): 次の密度への締め込みが可能な範囲の含水比において、最大乾燥密度の90%以上(締め)試験(JISA1210) A・B法。 (路床): 次の密度への締め込みが可能な範囲の含水比において、最大乾燥密度の95%以上(締め)試験(JISA1210) A・B法。 ただし、JISA1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも締め込みエネルギーの大きな転圧方法(例えば、標準よりも転圧力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合)に適用する。 【粘性土】 (路体): 自然含水比又はトラフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率 $V_a$ が $2\% \leq V_a \leq 10\%$ 。 飽和度 $S_r$ が $85\% \leq S_r \leq 95\%$ 。 (路床): トラフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率 $V_a$ が $2\% \leq V_a \leq 8\%$ 。 ただし、締め管理が可能な場合は、砂質土の基準を適用することによる。	路体: $1,000\text{m}^3$ につき1回の割合で行う。 ただし、 $5,000\text{m}^3$ 未満の工事は、1工事当り3回以上。 路床: $500\text{m}^3$ につき1回の割合で行う。 ただし、 $1,500\text{m}^3$ 未満の工事は、1工事当り3回以上。 1回の試験につき3孔の最低値で判定を行う。 各試験の「1工事当り3回以上」に該当する場合は、以下を参考とする。これにより難い場合は、監督員と協議すること。 各試験は、原則同一断面かつ、一層の仕上がり厚が最大となる箇所で行う。ただし、管きょ部及び立坑部は人力施工箇所を路床、路体のどちらかで必ず含めること。 (試験箇所の詳細については別図「各工法における現場密度試験の測定箇所について」を参照) 路体の施工厚が20cm未満の場合は、路体で試験を行わず、路体の試験のかわりに路床で試験をすることができ。路体の施工がない場合は路床で2回行う。 締め方法における、人力施工、機械施工とは下表のとおりとする。 分類 締め方法 人力 (木ダコ等) 小型機械(振動コンパクター等) 機械 タンピングランマー、振動ローラー、ブルドーザー等 開削工法、推進工法における路体・路床それぞれ試験回数は以下を参考にすること。 工法 管きょ部 マンホール部 立坑部 開削工法 2回以上 1回以上 - 推進工法 - - 3回以上※ 2工法併用 1回以上 - 1回以上 ※立坑部が3か所未満の場合各立坑1回	・密度管理が不適当な土については、工事監督員の承諾を得て飽和度、空気間隙率管理とすることができる。 ・試験盛土により現場密度を定める場合は、この規格値を適用しない。 ・管路の埋設等小規模な埋戻しにおいて、転圧力の大きな施工機械が使用できない等の理由により、左の規格値の適用が困難な場合は、別途設計図書による。	試験成績表等による確認
道路土工	土工	必須	現場密度の測定又は飽和度の測定(粘質土)	最大粒径 $\leq 53\text{mm}$ JISA1214(砂置換法) 最大粒径 $> 53\text{mm}$ : 細集調査試験法(便覧[4]-185(突砂法))	【砂質土】 (路体): 次の密度への締め込みが可能な範囲の含水比において、最大乾燥密度の90%以上(締め)試験(JISA1210) A・B法。 (路床): 次の密度への締め込みが可能な範囲の含水比において、最大乾燥密度の90%以上(締め)試験(JISA1210) A・B法。 ただし、JISA1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも締め込みエネルギーの大きな転圧方法(例えば、標準よりも転圧力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合)に適用する。 【粘性土】 (路体): 自然含水比又はトラフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率 $V_a$ が $2\% \leq V_a \leq 10\%$ 。 飽和度 $S_r$ が $85\% \leq S_r \leq 95\%$ 。 (路床): トラフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率 $V_a$ が $2\% \leq V_a \leq 8\%$ 。 ただし、締め管理が可能な場合は、砂質土の基準を適用することによる。	路体: $1,000\text{m}^3$ につき1回の割合で行う。 ただし、 $5,000\text{m}^3$ 未満の工事は、1工事当り3回以上。 路床: $500\text{m}^3$ につき1回の割合で行う。 ただし、 $1,500\text{m}^3$ 未満の工事は、1工事当り3回以上。 1回の試験につき1孔で測定する。 各試験の「1工事当り3回以上」に該当する場合は、以下を参考とする。これにより難い場合は、監督員と協議すること。 各試験は、原則同一断面かつ、一層の仕上がり厚が最大となる箇所で行う。ただし、管きょ部及び立坑部は人力施工箇所を路床、路体のどちらかで必ず含めること。 (試験箇所の詳細については別図「各工法における現場密度試験の測定箇所について」を参照) 路体の施工厚が20cm未満の場合は、路体で試験を行わず、路体の試験のかわりに路床で試験をすることができ。路体の施工がない場合は路床で2回行う。 締め方法における、人力施工、機械施工とは下表のとおりとする。 分類 締め方法 人力 (木ダコ等) 小型機械(振動コンパクター等) 機械 タンピングランマー、振動ローラー、ブルドーザー等 開削工法、推進工法における路体・路床それぞれ試験回数は以下を参考にすること。 工法 管きょ部 マンホール部 立坑部 開削工法 2回以上 1回以上 - 推進工法 - - 3回以上※ 2工法併用 1回以上 - 1回以上 ※立坑部が3か所未満の場合各立坑1回	・密度管理が不適当な土については、工事監督員の承諾を得て飽和度、空気間隙率管理とすることができる。 ・試験盛土により現場密度を定める場合は、この規格値を適用しない。 ・管路の埋設等小規模な埋戻しにおいて、転圧力の大きな施工機械が使用できない等の理由により、左の規格値の適用が困難な場合は、別途設計図書による。	試験成績表等による確認



章(改定後)	現 行	改 定	備 考																						
	<p>別図「各工法における現場密度試験の測定箇所について(例)」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>箇所</th> <th>平面位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">開削工法</td> <td>管きよ部</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>ホンマ部</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>推進工法</td> <td>立坑部</td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table>	工法	箇所	平面位置	開削工法	管きよ部		ホンマ部		推進工法	立坑部		<p>別図「各工法における現場密度試験の測定箇所について(例)」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>箇所</th> <th>平面位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">開削工法</td> <td>管きよ部</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>ホンマ部</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>推進工法</td> <td>立坑部</td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table>	工法	箇所	平面位置	開削工法	管きよ部		ホンマ部		推進工法	立坑部		<p>変更</p>
工法	箇所	平面位置																							
開削工法	管きよ部																								
	ホンマ部																								
推進工法	立坑部																								
工法	箇所	平面位置																							
開削工法	管きよ部																								
	ホンマ部																								
推進工法	立坑部																								
	<p>断面位置(管きよ部及び立坑部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">埋戻しに路体を含まない例</th> <th colspan="2">埋戻しに路体を含む例</th> </tr> <tr> <th>路体が20cm未満の場合</th> <th>路体が20cm以上の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  </td> <td>  </td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table> <p>☆: 試験位置</p> <p>※ 各層(路床・路体)の上端では一層の仕上がり厚が最大とならない場合がある。最大の厚さとなる箇所で試験を行うこと。</p>	埋戻しに路体を含まない例	埋戻しに路体を含む例		路体が20cm未満の場合	路体が20cm以上の場合				<p>断面位置(管きよ部及び立坑部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">埋戻しに路体を含まない例</th> <th colspan="2">埋戻しに路体を含む例</th> </tr> <tr> <th>路体が20cm未満の場合</th> <th>路体が20cm以上の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  </td> <td>  </td> <td>  </td> </tr> </tbody> </table> <p>☆: 試験位置</p> <p>※1 各層(路床・路体)の上端では一層の仕上がり厚が最大とならない場合がある。最大の厚さとなる箇所で試験を行うこと。</p> <p>※2 現場密度試験箇所については、監督員と協議すること。</p>	埋戻しに路体を含まない例	埋戻しに路体を含む例		路体が20cm未満の場合	路体が20cm以上の場合										
埋戻しに路体を含まない例	埋戻しに路体を含む例																								
	路体が20cm未満の場合	路体が20cm以上の場合																							
																									
埋戻しに路体を含まない例	埋戻しに路体を含む例																								
	路体が20cm未満の場合	路体が20cm以上の場合																							
